

令和 3（2021）年度事業計画

社会福祉法人東京家庭学校

上水保育園

ま え が き

今年度は 2019 年 2 月に開始した園舎建替工事が 5 月末の園庭完成をもって終了となります。引き続き園児の安全確保を最優先に進め、法人創立の歴史的経緯及びこれまで果たしてきた役割を再確認し、キリスト教の中核を成す「愛の精神」をもって、より良い保育を実践してまいります。また、感染症拡大防止対策を十分に行いながら工夫を重ねて日々の保育に取り組んでまいります。

園児数については本園・分園合わせて 26 名の定員割れという厳しいスタートとなりますが、園児数に合わせた職員配置を行い対応してまいります。工事や感染症対策のため、様々な制約はありますが、地域に根ざした魅力ある保育園として積極的にアピールし、園児及び職員確保に努めます。また、地域子育て支援及び人材育成、保護者の利便性向上や職員の負担軽減を図るための ICT 化導入などに取り組んでまいります。

1 児童処遇

(1) グループ編成（定員数 本園・分園合計 341 名）

	クラス名	定数	在籍	職員数	備 考	4/1
0 歳	ちゅうりっぷ	22	8	3 } + 1 3 }	学年責任者はフリー 看護師	- 6
	たんぽぽ		8			
1 歳 児	すみれ	36	12	2 + 1	学年責任者はクラス担任兼務	- 1
	もも		12	2 + 1		
	すずらん		11	2 + 1		
2 歳 児	うめ	48	15	2 + 1	学年責任者はクラス担任兼務	- 2
	きく		16	2 + 1		
	ばら		15	2 + 1		

	クラス名	定数	在籍	職員数	備 考	4/1
3歳	さくら	50	25	2+1	学年責任者はクラス担任兼務	-1
	つばき		24	2+1		
4歳	ふじ	52	25	2	学年責任者はクラス担任兼務	-1
	ゆり		26	2		
5歳	ひまわり	52	22	1 } +1 1 }	学年責任者はクラス担任兼務 配慮児1名	-7
	あじさい		23			
	延長	39	13	2+3	夕刻まではフリー	
	フリー			3		

西荻分園

0歳	ひよこ	12	7	3+3		-5
1歳	うさぎ	15	15	3+3		

清水分園

1歳	いちご	8	8	2+1		
2歳	あんず	10	10	2+1		
3歳	きりんグループ	12	12	1	異年齢保育	
4歳	ぱんだグループ	13	10	1+1		-3
5歳	りんご	13	13	1		

(2) 保育理念 (事業運営方針)

1. キリスト教による情操教育によって地域における保育に掛ける乳幼児の保育を実践し、心身共に健康で明るく伸び伸びとした創造性豊かな子供を育てる。
2. 子育てを支援する役割を果たす。
3. 地域に根ざし、地域住民との連携、交流を深め、地域の文化及び災害時の拠点となるように努める。

(3) 保育目標 (子ども像)

「しっかり食べる子」 「よく考える子」 「思いやりのある子」

(4) 保育方針（保育者がめざすもの）

- ・子どもを愛し楽しく過ごせる配慮の下に子どもの持つ豊かな発想をうけとめ感性を育てる。
- ・自然からの学びを共有し、不思議の目をふくらませ「学びの芽」を育てる
- ・戸外で思いっきり体を動かす喜びを保障し食への関心、生きる力を育てる
- ・わらべ歌、童謡、賛美歌を心地良く聴き、歌い、仲間と共に歌うことの喜びも育てる
- ・絵本や昔話に親しみ、聞く力を養い、創造力豊かに育てる
- ・家庭の育児を認め、共に育ちあう関係を作る

(5) 学年別保育目標

0歳児

1. 家庭の育児を認め、共に育ち合う関係を作る。
2. 感覚機能を十分に働かせやすい環境をつくる。
3. 自我の芽生えを大切に受けとめ、それぞれの思いに添った援助をする。
4. 個別の対応を心がけ、スキンシップを十分にとりながら心身共に快適な状態をつくり、情緒の安定を図る。
5. 一人一人に応じて授乳を進め、健やかな発育・発達（咀嚼力の基礎作り）を促す。

1歳児

1. 家庭の育児を認め、共に育ち合う関係を作る。
2. 感覚機能と運動機能を十分に働かせやすい環境をつくり、外界に対する好奇心や関心を育む。
3. 自我の芽生え、自己主張を大切に受けとめ、それぞれの思いに添った援助をする。
4. 個別の対応を心がけ、依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
5. 手づかみ食べも見守りながら自分で食べようとする気持ちを育み、食べることの楽しさを共有する。

2歳児

1. 子どもの育ちを保育者と家庭が共に理解し援助をする。
2. 感覚機能と運動機能を十分に働かせやすい環境をつくり、外界に対する好奇心や関心を育む。

3. 自分を出せる関係を基に「自分で」「やって」の気持ちを大事にし、それぞれの思いに添った援助をする。
4. 表現の芽生えを大切に受けとめ、仲間と共に遊ぶ喜びを共感する。
5. 身近な物の扱いは信頼関係の下で育む。
6. 欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。又、葛藤の乗り越えを一貫した対応で見守り、援助をする。
7. 食欲や好みをはっきり出せる関係を作り、自分で食べようとする気持ちを育み、噛むことの大切さも伝える。

3 歳児

1. 仲間と共に育ちあう関係を保育者と家庭が共に理解し援助をする。
2. 自己主張のぶつかりあい認め、相手の立場に気付くよう援助する。
3. 遊びの保障を心がけ、感動する経験を広げ「ヤッター」という達成感を共感する。
4. 聞く楽しみや表現の喜びを共感する。
5. 個性を認め合う環境をつくる。
6. 身近な物の扱いは信頼関係の下で育み、習慣へ導く。
7. 気の合う仲間との関係を基に、一緒に食べる楽しさやマナーを伝えていく。

4 歳児

1. 仲間と共に育ちあう関係を保育者と家庭が共に理解し援助をする。
2. 飼育栽培を通して動植物の育ちに興味関心を深め、生が持つ不思議さに気付くよう援助する。
3. 愛されている環境の下で頑張る気持ちを育み、喜びを共感する。
4. 個性を認め合う環境をつくり、生活経験を深め自信へと導く。
5. 自己主張のぶつかりあい認め、相手の立場に気付き、心のコントロールを図る。
6. 仲間との関係を深め、一緒に食べる楽しさやマナーを伝えていく。

5 歳児

1. 仲間と共に育ちあう関係を保育者と家庭が共に理解し援助をする。
2. 飼育栽培を通して、生命を育む自然の摂理の偉大さに気付き、感謝の気持ちや生命を尊重する心を育む。

3. 工夫したり挑戦したりしながら十分に自己発揮し、活動の達成感を共感する。
4. 自然や社会への興味関心を深め、みんなで考え合い、知的好奇心・探求心を育む。
5. 人の役にたてたという満足感を共感する。
6. 集団としてのまとまりを心がける。
7. 仲間との関係を深め、一緒に食べる楽しさやマナーを伝えていく。

(6) 年間行事予定と避難訓練

4月	入園式、保護者会	避難訓練	(地震)	(消火訓練)
5月	親子遠足(4・5歳児組)(3歳児組)	避難訓練	(地震)	(消火訓練)
6月	保育参加	避難訓練	(火災)	(消火訓練)
7月	七夕まつり、水あそび、5歳児組合宿	避難訓練	(火災)	(消火訓練)
8月		避難訓練	(火災)	(消火訓練)
9月	プール終い	避難訓練	(地震)	(消火訓練)
10月	運動会、遠足(3歳児組)	避難訓練	(地震)	(消火訓練)
11月	親子遠足(2歳児組) 遠足(4歳児組)	総合避難訓練	(火災)	(消火訓練)
	感謝祭			
12月	風船とぼし、クリスマス祝会	避難訓練	(地震)	(消火訓練)
1月	郵便ごっこ	避難訓練	(地震)	(消火訓練)
2月	豆まき	避難訓練	(火災)	(消火訓練)
3月	おめでとうパーティ、卒園式	避難訓練	(地震)	(消火訓練)

5歳児組 体育あそび(毎週水曜日) 科学あそび(月1回)

4歳児組 リトミック(月1回)

3歳児組 リトミック(月2回)

3歳児～5歳児組 聖話(月1～2回) アドベント礼拝(クリスマス会前4回)

(7) 健康管理

子ども一人一人の発育発達の個人差(個性)を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児組(月2回) 1・2歳児組(月1回) 3歳児組以上(年2回)
耳鼻科健診	3歳児組以上(年1回)
眼科健診	3歳児組以上(年1回)
蟻虫卵検査	全園児(年1回)
視力測定	3歳児～4歳児(年1回)
歯科健診	全園児(年1回)
健康教育	手洗い指導 3歳児(5月) 歯みがき指導 3歳児組以上(6月と7月) 安全指導 4歳児(7月と3月) からだのしくみについて 5歳児(2月)

(8) 食事

[1] 目 標 『しっかり食べる子』を育てる。

乳幼児期は生活習慣の基礎ができる時期であり、その中心に「食事」があります。食事は子どもの体の成長・発達にとり重要なものであり、さらに食習慣を体得していく大切な時期と考えます。

- 配慮事項
- 1 和食を中心とします。
 - 2 薄味を心がけます。
 - 3 旬の素材・安全な食材を使用します。
 - 4 見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がけます。
 - 5 アレルギー児については、保護者と連絡を密にします。

[2] 栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

毎年1回男女構成比と年齢により算出しています。

（令和3年4月算出）

	エネルギー KCal	タンパク質 g	脂 肪 g	カルシウム mg	鉄 分 mg	ビタミンA μg	B 1 mg	B 2 mg	C mg
3歳未満児	463	15.1	20～	213	2.3	188	0.25	0.28	18
3歳以上児	548	17.8	30%	259	2.5	214	0.32	0.36	18

[3] 食 育（食を通じた子どもの健全育成）

「保育所指針改定」に伴い、食育も保育課程の中にしっかりと位置づけられました。生まれたばかりの赤ちゃんがお母さんのおっぱいを口に含んだ時点から食育が始まると考え、食育の3つの柱である「食と健康」「食と文化」「食と環境」に基づいて、食事の大切さを意識づけていきたいと思えます。

◎「食と健康」

- ・ [早寝・早起き・朝ご飯] の習慣化をうながし、生活リズムを身につけます。
- ・ 食物の働き、体と栄養、体のしくみを学びます。

◎「食と文化」

- ・ 日本の伝統食や行事食を大切にし、子どもに伝えます。
- ・ スプーン・フォーク・箸使いを伝えます。
- ・ 発育の段階にあわせて、食事の準備・配膳・後片付け・食事マナーを身につけます。
- ・ 3・4・5歳児組は保育者の見守りの中、自分の食べる量を考え、自分で盛りつけ、楽しみながら食べる力を育みます。

◎「食と環境」

- ・ 野菜などを育てる楽しみ、収穫の喜びを味わいます。
- ・ 空豆のさやむき、蒾やトウモロコシの皮むきなどの体験を通じ、食材にふれる機会を設けます。
- ・ 米とぎ、おにぎり作り、味噌汁作り等を通じて、調理の課程を知ります。
- ・ 月見団子作り、クッキー作りを行い、調理の楽しさを味わいます。
- ・ 栄養士・調理員が食事時に保育室を訪れ、素材を見せたり、子どもの食事状況を把握したり、子ども達からの質問に答えます。

- ・魚は切り身で提供するため、おろす前の魚を子ども達がみる機会を設けます。
- ・幼児クラスは各保育室に電気炊飯器を導入し、炊きたてのご飯を提供します。

[4] 食事に関する情報の提供

- ・毎月・・・月末に予定献立表を配布します。(幼児食・アレルギー児食・離乳食・延長補食)
- ・掲示板・・・献立や食材等、食に関わる情報を随時掲示します。
- ・展示食・・・新館・本館にその日の食事を展示し、子ども・保護者に見ていただきます。

[5] 衛生管理

- 衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認します。
- 調理職員の細菌検査(毎月1回)、調理室・乳児調理室の掃除、ワゴン清掃(毎日)冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風消毒庫にて保管、原材料・調理済み食品の保存(2週間)を行います。

[6] 離乳食に関して

「授乳・離乳の支援ガイド」に基づき、一人一人の発育に配慮して、無理のない離乳を進めています。1歳児の食事に関しては、一人ひとりの発達に応じて1歳6ヶ月までは、離乳食を準備し、3回食完了では幼児食への移行を充実させる為、食材や調味料の幅を広げていきます。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により保護者との連絡を密にして対応していきます。

・離乳食の進め方

- 1 食べやすい大きさと固さ・・・子どもの発達に沿った大きさと固さにします。手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てます。
- 2 栄養と食品のバランスを考えて・・・離乳食の中に穀類・たんぱく質類・野菜の三種類を合わせます。近年アレルギーの子どもが増えたことを配慮して離乳食の献立には海老・イカ・蟹類・胡麻・卵は使用しません。
- 3 薄味で・・・出汁をふんだんに使い、調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理します。

2 職員

(1) 職員会議

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ・ 5園合同職員会議 | 年間 1回 | ・ 月当番連絡会 | 毎月 1回 |
| ・ 5園合同施設運営会議 | 毎月 1回 | ・ 5園合同看護師連絡会 | 毎月 1回 |
| ・ 職員会議・保育会議 | 年間11回 | ・ 5園合同栄養士連絡会 | 毎月 1回 |
| ・ 学年会議 | 毎月 1回 | | |
| ・ 給食会議 | 毎月 1回 | | |

(2) 健康管理

- ・ 秋季健康診断（10月～1月） 全職員

(3) 研修計画

- | | | | |
|--------------------|------|--------------|------|
| ・ 5園合同研修 | 年 1回 | ・ こどものとも社研修 | |
| ・ 5園新人研修 | 年 5回 | ・ 集団給食研究会 | |
| ・ 5園交流研修 | 年 1回 | ・ 東社協主催研修 | 年 4回 |
| ・ 日本キリスト教保育所同盟主催研修 | | ・ 杉並保育士会主催研修 | |
| ・ 民間保育園協会主催研修 | | ・ 杉並保健所主催研修 | |
| ・ 私立保育園連盟主催研修 | | | |
| ・ 杉並区私立園長会主催研修 | 年 4回 | | |
| ・ 杉並区保健福祉部保育課主催研修 | 年 6回 | | |

3 改修・購入計画

- ・ 組み立て式プール
- ・ 新4歳児用お昼寝布団 52枚
- ・ クラス用ノートパソコン 10台

4 保護者に向けて

保育への理解と協力の促進

(1) 保育参加・参観・個人面談

保育参加は原則として一年中オープンとし、保護者の参加を受け入れます。0歳児及び1歳新入園児の保護者は、別室より参観の後、懇談の時を持ちます。他のグループは秋

より個人面談にします。また、運動会、クリスマスは参加と参観に充てます。

(2) 保護者会

年2回、午後4時30分から5時30分までを予定し、クラス毎に懇談します。

(3) 一日保育士体験

1～3歳児組の保護者で希望される方に、一日お子様のクラスに入って、子どもたちと関わっていただきます。午睡中に担任と懇談の時を持ちます。

(4) お知らせ

・園だより	毎月2回以上発行
・学年だより	毎月1日に発行
・保健だより	毎月1日に発行
・献立表（離乳食・幼児・アレルギー）	毎月1回発行
・延長献立表	毎月1回発行
・父母の会だより	毎月1回発行
・行事アンケート報告	行事後、学年ごとに2～5回発行

「学年だより」では、学年ごとの子どもの育ちを見通し、その姿を家庭にお伝えすること、また、仲間と関わる体験を通して、学び成長することの大切さをお伝えします。

工事については、直近の工事内容や進行状況を確認し、その内容を適宜保護者へお知らせし、工事へのご理解ご協力をお願いします。

(5) コロナウィルス感染拡大防止対策

「感染リスクを下げる3原則」や国、都、杉並区の取り組みを踏まえ、対応してまいります。職員には出勤前に検温、風邪症状の有無等の体調確認を行い、保護者にも園舎に入る前に手洗いの徹底をお願いしています。入園式は分散して行い、人数制限や検温、マスクの着用等、保護者に協力を依頼して対応する予定です。他の行事については引き続き感染状況や行政の取り組みを踏まえて、内容変更や延期を視野に入れながら進めてまいります。

5 子育て支援

今年度より地域子育て支援の担当をおき、保育園が地域子育て支援の拠点となる準備を進めます。今後、子育て親子の交流の場の提供や、相談・援助の実施、情報提供、育児講座などを通して、地域の子育て力向上を目指してまいります。